行田のこども達のために

養田英雄（蒼倫維新）

問　東京都品川区の制服無償化や茨城県日立市のランドセル無償配布についての見解は。

答　制服の無償化やランドセル等を配付している自治体があることは承知している。こうした自治体の効果等について今後調査研究をしていきたい。

問　埼玉県横瀬町には小学校等入学祝い金で児童1人につき2万円分の商品券を、福島県白河市には白河っ子小学校入学祝金で児童1人につき5万円を配る制度がある。入学祝い金についての見解は。

答　入学祝い金の創設に関して、現在のところは設置する予定はないが、既に導入している自治体の状況等について確認していきたい。

問　神奈川県海老名市が行っている教材費の補助についての見解は。

答　一律に学用品等の補助を行うことについて、他市の状況等を踏まえ慎重に判断していきたい。当面は経済的に困難な家庭の子どもたちの支援に重点を置く。

行田市のグランドデザインについて

福島ともお（令和研究会）

問　国道17号熊谷バイパス本線部（熊谷渋川連絡道路）及びインターチェンジについてどのような取組をしてきているのか。また、今後の展望は。

答　市政運営の総合指針である行田市基本構想では、国道17号熊谷バイパスの高速道路化やインターチェンジ設置の早期実現を重点政策として掲げ、積極的に推進している。

5月14日に東京の砂防会館で開催された命と暮らしを守る道づくり全国大会において、全国から市町村長922名が出席する場で行田市長としての意見発表という大変貴重な機会をいただいた。

今後も、早期実現に向けて、市内の経済界や産業界、自治会やPTAなどの各種団体で構成するチーム行田での要望活動をはじめ、埼玉県及び本庄市、深谷市、熊谷市の近隣3市との連携により、深谷バイパスや上武道路における4車線化など、県北部の国道17号バイパス整備についてこれまで以上に積極的な要望活動を行っていく。

人にやさしい環境づくりについて

大屋　彰（公明党）

電話リレーサービスは、聴覚や発話に困難がある方ときこえる方の会話を、通話オペレーターが手話又は文字と音声を通訳することにより、24時間365日電話で双方向につなぐサービスです。

問　本市での周知方法は。

答　現在、福祉課の障害福祉の窓口や社会福祉協議会の窓口にリーフレットを配架し、聴覚や発話に困難のある方から電話による意思疎通の方法に関する相談があった際には電話リレーサービスの案内をしている。

問　今後の周知方法について。

答　認知度の向上を図るために、本市ホームページへの掲載等を通じ、他の自治体の事例を参考にしながら、視覚的な分かりやすさやサービスの具体的な利用場面をイメージできるようなコンテンツの活用に努める。

〔その他の主な質問〕

○ペットボトルキャップの分別回収について

○LINEを活用した通報システムの導入について